

## 議案第3号

### 平成31年度事業計画

#### 1.活動の基本方針

平成31年度は、当協議会設立20周年を迎える。設立記念事業のテーマを「未来のケアマネの姿 大牟田らしさとは ～20年の歩みとこれから～」とし、これから迎える社会情勢の中で、真の対人援助職のあり方を会員の皆様と共に再確認していく。また、大牟田市地域医療・介護連携ビジョンについては、引き続き各専門職団体や地域関係団体等と連携し活動を推進していく。

そのような中、介護支援専門員は、介護保険制度の理念である自立支援に向けたケアマネジメントの実践者として利用者の生活支援、医療連携の要を担っていくことが求められている。また、認知症や様々な要因により、自身の想いを表現できない方々の代弁者としての役割を果たしていくことも重要である。そこで、当協議会においては、対人援助職としての高い専門性と倫理観を身につけることを目指した継続的研修を行うとともに、地域ケア会議への積極的な関わり、主治医をはじめとした医療との連携強化、多職種や地域団体等との連携構築に向けた活動の充実を図る。

#### 2.事業部会活動計画

##### (1) 事務局

###### ①役員会の開催

###### ②定期総会の開催

###### ③介護関連イベント、講演会等への参加協力、共催、後援等

介護関連イベント、講演会等への積極的に参加し、行政、大牟田市介護サービス事業者協議会等と共催実施することにより、当協議会の活動を市民や関係者へ広くPRする。

###### ④他市町村等協議会との連携

大牟田市外の介護支援専門員関係団体等との交流（研修会等への参加を通じ、活動等に関する意見交換や他団体等の活動内容などから、当協議会活動充実のための情報収集を行う）

###### ⑤ケアマネジメントサポート事業

連携体制構築の取り組みとして、地域包括支援センター圏域毎に特色ある活動として充実しており、今後も継続していく。また、新たに主任介護支援専門員となった方も含め、活動人数を増やしていけるよう取り組む。

###### ⑥施設ケアマネジメント研究活動への支援

施設ケアマネジメントに関わる実践者と意見交換を行い、「支援者同士のネットワーク構築」「継続的な研修」の仕組みづくりを推進する。

###### ⑦地域包括ケアシステムの推進、地域共生社会の実現に向けて「介護支援専門員」の役割を模索する。

地域包括ケアシステム・地域共生社会の中で、介護支援専門員としての役割や協働のあり方を具体的に考える機会を作る。

#### ⑧会員への情報発信について

ホームページやフェイスブックを活用し、当協議会の情報やきらめき等、会員や外部への周知・発信を行う。各事業部会協働での実行委員会にて運営・管理・運用方法について検討する。

#### ⑨「大牟田市介護支援専門員連絡協議会 設立20周年記念事業」について

平成31年度に開催する20周年記念事業を実行委員会形式にて取り組み、次の10年に繋がる記念事業とする。

### (2) 研修事業部会

#### ①共通研修(フォローアップ全体研修)の開催

大牟田市介護サービス事業者協議会と連携し、対人援助職としての専門性を高めるための研修会を開催する。

#### ②基礎研修の開催

対人援助専門職としての基礎知識の習熟を図るための研修会を開催する。

#### ③熟達研修(スーパービジョン研修)の開催

平成29年度からの2年間の課程で、初級編1チーム(20名)と中級編2チーム(25名)が修了したため、今年度より新しい形態で継続を行う。

#### ④その他

スーパーバイザー活動支援及び養成研修を継続的に実施する。

### (3) 広報事業部会

#### ①会報の発行(年3回)

当会の活動内容などを掲載した会報を発行し、活動の報告・介護サービスに関する情報の共有、提供を行っていく。

#### ②会員への情報発信

ホームページを活用し、協議会の情報やきらめき号外等、介護支援専門員に必要な情報をより早く発信していく。

### (4) 情報交流事業部会

#### ①多職種連携の推進・強化

医療や介護、地域で活動している支援者との連携推進強化を目指した、多職種協働の展開が図れるための意見交換会や研修会を実施する。

- ・主治医と介護支援専門員及び多職種との交流事業の開催
- ・医療・介護の多職種、地域団体との連携推進のための交流事業